



↑参加した県代表者と鶴長さん（前列右端）

★ 第51回全国スポーツ少年大会 全国に広がる友好の輪

7月26日から29日、大分県佐伯市において、第51回全国スポーツ少年大会大分県大会が開催されました。本町から、蔵之元ソフトボールスポーツ少年団の鶴長あおいさん（蔵之元小5年）が本県の代表として研修に参加しました。

研修は、3泊4日の日程で、全国のスポーツ少年団に所属する団員・指導者360名との集団生活を行うものでした。

鶴長さんは「新しい友達がたくさんでき、しっかりした返事もできるようになりました。かけがえのない4日間でした」と本大会での成果を話しました。

↓川添健町長へ寄付を手渡す小田さん



★ 報酬の一部を寄附 町づくりに役立てて

9月4日、唐隈集落の小田強さんが町へ寄付しました。

小田さんは、同集落の自然を守る会（上筋睦雄会長）に入会し、沿道の除草作業などを行っています。今回、報酬で得た一部を町へ寄付しました。

小田さんは「今後も継続していきたい。少しでも福祉や町づくりに貢献できれば」と話しました。

★ 北海道で種バレイショ収穫体験 産地の熱い思いが伝わる

8月26日から31日、北海道種バレイショ収穫体験が同夕張郡栗山町であり、本町からJ A赤土バレイショ部会女性部（野澤由紀子部長）の6人が参加しました。

同町を含むJ Aそらち南は、本町の種バレイショの多くを生産し、体験交流も今回で3回目を迎えました。

収穫は大型収穫機に5～6人が乗車。約2畝の畑を次々と掘り起こしました。参加者は大きな機械と広い畑に驚きながらも、てきぱきと作業しました。

野澤部長は「貴重な体験ができた。種いも生産の苦労や、栗山町の種いもに対する熱い思いも伝わった」と話しました。



↑収穫作業を体験する野澤部長（中央）